

会員の広場



ジャズの曲名・和訳の妙

安間 孝信（東京）

私が高校生の頃「真夏の夜のジャズ」なる映画が故郷静岡の映画館に架かった。この映画は1958年7月にロードアイランド州ニューポートで開催された第5回のニューポートジャズフェスティバル」を写真家のバード・スターンが撮ったドキュメンタリーです。

この映画で頭の中にピカッと走るものがあり以来ジャズ好きに成った。従ってジャズに巡り合っただけこれ六十年も経ってしまった。ジャズの曲名は英語名のものが殆どだが親しみ易く和訳したものも多くある。ところでその和訳がとても素晴らしく思わずうなってしまうものがある。

中でも私が一番素晴らしいと思うのは「月光値千金」です。エノケンが歌った事も有るご存じの名曲で英語のタイトルは「Get Out And Get Under The Moon」と言う。直訳すれば「外へ出なさい。そして月の下へ」です。春の宵、あのうきうきしたメロディーを聞けば「月光値千金」と訳した人の力量を感じずには居られない。

「When I grow Too Old To Dream」と言う名曲が有る。英語の直訳では味が無い。日本語の曲名は「夢見る頃を過ぎて」と言う。しっかりととした情感が伝わってきます。和訳する人の素晴らしい感性を感じます。

一方名曲であるにも関わらず素敵に和訳されて居ない曲も有る。その一つに「Do You Know What It Mean To Miss New Orleans」と言うのが有る。曲名とは思えない長さです。哀感溢れる曲で、やむを得ずニューオーリンズを出てゆかなければならない寂しさがひしひしと伝わって来ます。

時は第一次世界大戦中の1917年。ニューオーリンズは海軍の軍港に成った。その頃ジャズはストリービルと言われる娼家の並ぶ

紅灯街周辺を仕事場として居た。海軍には好ましがらざる場所としてストリービルは閉鎖された。この場所でのジャズ演奏は禁止されてしまったのです。職場を失ったジャズメン達は不安の中やむを得ずシカゴやニューヨークに活動の場を求めて移住することに成りました。

この時の事を題材にして1947年にルイ・アームストロングやビリー・ホリデイが出演した話題の映画「ニューオーリンズ」が完成、上映されこれはその主題曲です。日本語の曲名は「ニューオーリンズを失う事は」とか「ミスニューオーリンズ」と訳されて居るがピンときません。もしあなたでしたらどんな素敵な曲名に和訳してくれますか。